

海津市創生総合戦略 令和4年度施策評価

基本目標	KPI	目標値(R6)	実績値(R4)	達成状況	主要な施策	KPI	目標値(R6)	実績値(R4)	達成状況
まちの魅力を向上し、人を呼び込む【交流人口の増加】	主要観光拠点入込客数増加	4,726千人	3,438千人	未達成	(1)観光資源の活用	道の駅における来客数	514,000人	412,774人	未達成
					(2)地域資源の発掘と活用	①地域資源発掘・観光拠点再振興箇所数	① 12箇所	① 25箇所	達成
						②ガバメントクラウドファンディングの実施数	② 3回	② 0回	未達成
(3)公民連携の拠点づくり	企業サウンディング実施回数	5回	2回	未達成					
多様なかたちで海津市に関わる【関係人口の増加】	ふるさと応援寄附金の寄附件数	1,400件	5,232件	達成	(1)スポーツ・余暇活動の推進	スポーツイベントの参加人数	1,000人	2,950人	達成
					(2)地域間交流の推進	西濃圏域における観光客数	1,480万人	964万人	未達成
					(3)若者が活躍するまちづくり	海津市創生ワークショップ開催回数(累計)	10回	0回(累計0回)	未達成
移住先として選ばれるまちに【移住人口の増加】	転入者数	900人	1,102人	達成	(1)産業の振興	新規就農者数(累計)	15人	7人(累計14人)	未達成
					(2)雇用の創出	誘致した企業数(累計)	2社	1社(累計2社)	達成
					(3)移住支援の充実	移住相談会への参加回数(累計)	25回	1回(累計1回)	未達成
					(4)生活環境の向上	Society5.0関連事業の実施数(累計)	10件	0件(累計12件)	達成
定住者の満足度向上【定住促進】	R6年人口(推計値)の維持	31,000人	32,386人	達成	(1)安心安全で快適な暮らしの確保	防災士の取得者数(累計)	400人	34人(累計237人)	未達成
					(2)女性に優しい、女性が活躍できるまちづくり	海津市無料職業紹介所を利用して就職した女性の数(累計)	150人	13人(累計142人)	未達成
					(3)出会い・結婚・出産・子育て支援体制の充実	婚姻率(人口1,000人に対する婚姻件数の割合)	4.4%	2.4%(R3年)	未達成
					(4)健康寿命の延伸による高齢者の活躍	海津市民の健康寿命(要介護1以下を健康として)	男性79.45歳 女性83.43歳	男性78.8歳 女性82.8歳	未達成
					(5)学校教育、地域教育、家庭教育の充実	キャリア教育推進事業受け入れ表明があった事業者数	100事業者	74事業者	未達成

主な事業の取組み	個別取組み状況(R4年度終了時点)
・既存観光施設の充実・活用	主要観光地である千代保稲荷神社、国営木曾三川公園、道の駅「アール平田」、7月見の里南濃」及び海津温泉における観光入込客数は343万8千人であった。
・観光イベント関連事業	チューリップ祭は、ステージイベント無しでの開催となったが1万788人の来客があった。今尾の左義長は新型コロナウイルス感染症の影響により、3年連続で中止となった。
・ツアー造成事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、ツアー造成は振るわず、当該事業を活用したバスツアーについては3件の申請に対し、事業実施できたのは2件にとどまった。
・産業観光の発掘	アクティビティマップを更新増刷し、市内において農業体験ができる施設の周知を図った。
・特産品のブランディングと販路開拓、拡大支援	海津市観光協会の推奨土産品認定制度「かいつの逸品」を新たに8品認定し、併せて販路拡大のため紹介パンフレットを作成した。
・自然環境資源の発掘と活用	映えスポット整備事業として、地域団体との協働で津屋川彼岸花群生地での球根植栽事業を実施した。また、大樽川堤の桜とのコラボを目指して菜の花の種の播種を実施した。
・ガバメントクラウドファンディング活用事業	活用事業を検討したが、未実施であった。
・旧平田庁舎跡地周辺公共施設等利活用事業	株式会社製作所がネーミングライツ事業でふるさと会館をSSDローンラザと命名し、事務所をオープンした。旧平田庁舎跡地の一部において、株式会社コンテナホテルを開業した。
・旧南濃中学校跡地利活用事業	公募型プロポーザルを実施したが、応募はなかった。
・シティプロモーション事業	バス釣り大会や河川清掃活動を実施し、400人以上の集客を生み、関係人口の増加につなげた。また、だんだん公園キャンプ場にてキャンプコーディネーター監修のもとイベントを実施した。
・スポーツイベント等の推進	長良川国際トライアスロン、ジュニアトライアスロン、海津シティマラソン大会、木曾三川マラソン大会が開催され、合計2,950名の参加があった。
・ツール・ド・西美濃事業	西濃圏域を自転車で行くサイクリングイベントを開催し、総数で414名の参加があった。
・姉妹都市交流事業	4月と10月に霧島市の姉妹都市訪問団が本市に訪問された際、交流事業を実施した。また、5月に21名の海津市姉妹都市訪問団が霧島市へ訪問し、薩摩義士顕徳慰霊祭に参加するなど交流事業を実施した。
・国内観光プロモーション事業	県観光連盟が開催した大都市圏での商談会において、旅行会社によるバスツアーの誘致に向けた営業活動を行った。
・大垣地域経済戦略推進事業	市内事業者から大垣ビジネスサポートセンターに経営や起業の相談が70件あった。また、SDGs推進やSNS活用等のオンライン研修を12回開催した。
・海津市創生ワークショップ	海津明誠高等学校の生徒とのワークショップを計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により未実施。
・地域連携による活力ある学校づくり推進事業(海津明誠高校)	さぼう遊学館の冬季入館者の増加策を生徒と一緒に考え、クリスマスシーズンのイルミネーションを企画・設置してもらった。併せて、だんだん公園キャンプ場のPRを行った。
・新規就農者支援事業	新規就農者14名に新規就農者育成総合対策事業費補助金の交付をした。
・商工業振興促進事業	商工会加入店舗で使用可能なプレミアム付商品券の発行事業に対し、事業主体の商工会へ補助金を交付した。当事業にかかるプレミアム付商品券の発行枚数は110,000枚であった。
・東海環状自動車道整備推進事業	アクセス道路整備工事については、令和3年度末までに4か所のうち3か所が完了。令和4年度は残り1箇所の工事に着手し、令和6年度に完成予定。
・企業誘致事業	企業を1件誘致できた。引き続き、優良企業の誘致に向けた取り組みを実施し、地元雇用の創出や地域経済活性化等を図る。
・就業支援事業	市役所内の無料職業紹介所における年間延べ相談数は、261件であった。市民及び市内に就職を希望する者の就職支援のため、海津市無料職業紹介所にて就職相談・職業紹介を実施した。また、ハローワーク(大垣・桑名)と連携した就職フェアを実施した。
・工場等設置奨励・雇用促進奨励事業	新たに市民を雇用した市内事業者に対し、対象となる従業員1名につき20万円の雇用促進奨励金を交付する事業について1件交付した。
・同窓会開催助成金交付事業	令和2年度で事業廃止した。
・空き家対策管理事業	空き家バンク登録物件数は2件であり、成約は0件であった。
・東京圏からの移住支援事業	東京での移住定住イベントに出展したほか、東京にある県の移住交流センターの相談員に紹介を依頼した。(東京からの移住実績は0件)
・コミュニティバスの運行	コミュニティバス及びデマンド交通の運行を行ったほか、にしみのライナーバスの実証運行を行った。また、ダイヤ改正に伴うインターネットによる経路検索サービスのデータ更新を実施した。
・下水道等各種汚水処理施設整備事業	下水道等各種汚水処理施設の効率的な整備を進めた。未普及解消事業(面積A=15.6ha)、ストックマネジメント事業、長寿命化対策事業及び地震対策事業を実施した。
・上水道整備事業	海津市新水道ビジョン、海津市水道事業経営戦略に基づき、施設の更新、基幹管路の耐震化工事を実施した。(L=357m)
・Society5.0関連事業	R3年度から介護認定審査システムにおいてRPAを活用している。R4は様々な事業で検討したが、導入に至らなかった。
・自主防災組織活動への補助	備蓄資機材補助金:19団体に796千円を交付した。活動補助金:10団体に155千円を交付した。
・ICT等を活用した情報伝達体制の整備	防災行政無線Web配信システムを運用している。R4年度末の登録者数は2,034人となっている。(前年度末から+216人)
・離職した女性の再雇用支援	市の無料職業相談所を利用して就職された女性の数は13人であった。海津市無料職業紹介所事業にて、ハローワーク(大垣・桑名)と連携した就職フェアを実施した。
・男性への育児休業取得への働きかけ	対象職員に対し、育児休業した場合の詳しい内容を説明し取得を推奨した。(取得者1名)
・住民参加型の保育サービスの活用	子育て支援センターにおいて、ボランティアサークルによる絵本の読み聞かせ講座や、ベビーヨガ、バランスボール等の子育て講座を実施した。
・出会い・婚活事業の支援	婚活マッチングアプリ運営会社へ婚活事業の共同実施を依頼した。
・子育て支援事業	就園前の子どもをもつ保護者に対し、子育てに関する情報の提供や交流・相談の実施を目的に、市が運営する子育て支援センターかいつ及び私立認定こども園8園において、年間を通じ、週3回以上子育て支援事業を実施した。また、共働き等の理由により、保護者が日中家にいない児童を対象に、留守家庭児童教室を市内10か所で開設した。
・結婚新生活支援事業	制度の情報を記載したチラシを住宅展示場や市内施設へ配布した。(補助金の交付実績は5件)
・不妊治療費助成事業	特定不妊治療費助成金を13件、1,347千円を交付した。
・主体的な健康づくりへの支援	健康ポイント事業を周知することにより自主的な健康づくりの取り組みを促した。
・疫病の予防、早期発見の推進	各検診事業を実施した。胃がん検診(4.2%)、大腸がん検診(14.9%)、肺がん検診(24.5%)、乳がん検診(12.7%)、子宮がん検診(9.2%)、高齢者インフルエンザ予防接種接種率(51.7%)
・地域で気軽に参加できるサービスの充実	体組成測定、お食事相談を実施した。(計20回/参加者延べ327人)
・キャリア教育推進事業	市内各中学校の2年生285名が5日間にわたり職場体験を実施した。平田中学校では全学年で、仕事で活躍されている地域の方を講師とする職業体験講座を受講した。(全11講座の中から一人1講座を選択)
・小中学校におけるICTの推進	R2年度事業において小中学校にWi-Fi環境と一人一台タブレットを整備完了済み。小学校5.6年生及び中学校全学年でAドットの活用を開始した。